

みなさま、こんにちは。茅野 大志(かやの たいし)と申します。7 年ほど前までトータルハードマネージメントサービス(THMS)で獣医師として働いていました。はじめましての方、どうぞお見知りおきを。ご存じの方、お久しぶりです。大分県出身の山好きです。

新卒で THMS に入社し、当時多くのことを学ばせていただきました。アフリカに行きたいと会社を辞めて、ウガンダで JICA の獣医・家畜衛生の専門家として活動しました。具体的には、ムバララ県という酪農が盛んな地域で、プロジェクトに参加していた農家を巡回し、技術指導や繁殖・乳房炎などをチェックしていました。訪問していた酪農場のすべてで手搾り搾乳が行われており、周産期疾病などより感染症が問題となっていました。そこで帰国後、感染症をより深く学びたいと大学院で勉強し、その間にイギリスへ留学するチャンスもあり、THMS に戻る前は大学で研究者をしていました。専門としていたのは感染症疫学といわれる分野で、観察データをもとに感染症の流行をコンピュータ上で再現し、予防接種効果の評価や流行予測などといった研究に従事していました。

数年のブランクはいささか不安ではありますが、また北の大地で現場の獣医師として働けることにワクワクしています。臨床や繁殖検診といった体を使った業務に加えて、農場にある日々の疑問や問題点をきちんと整理・解決できるように、大学で培った研究者の視点も役立てていきたいと考えています。

農家・従業員さんだけでなく、授精師さんや飼料担当者さんなど農場にかかわる多くの人と手を携えて、「同じ理想を思い描けるよう」仕事をしていきたいと思います。農場でお会いできるのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします！

かやの

